広汎子宮全摘術を受けられる方へ

ID：　　病棟：　　主治医：　　担当医：

氏名：　　受持看護師：

	入院日	手術前日	（手術前）　手術当日　（手術後）		手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	術後5日目～退院
目標	体温・血圧・脈拍が安定している。 手術について分かる。		体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。		体温・血圧・脈拍が安定している。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 創部に問題がない。 嘔気がない。　腸の動きが良く、ガスや便が出る。 病棟内歩行できる。			体温・血圧・脈拍が安定している。 嘔気がない。　腸の動きが良く、ガスや便が出る。 傷に、赤み・腫れ・痛みがない。 残尿が少なく排尿ができる。 退院後の生活の注意点が理解できて、不安がない。	
説明	看護師がお話しをうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。	（主治医より） 手術について説明します。 （麻酔医より） 麻酔、手術前の食事や水分摂取について説明します。 同意書をお渡しします。 署名後、看護師にご提出ください。	ご家族は、手術に出る時間までには病院にお越し下さい。	（医師より） 手術の結果について説明があります。 	 医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に 1階玄関ホールにある診断書受付までお出しください。		看護師より膀胱体操について説明します。 		（看護師より） 退院後の生活について説明します。 リンパ浮腫の予防について説明します。 （担当医師より） 退院後の外来受診や服薬などについて説明します。
検温	適時	1回	6時・手術室へ行く前	帰室時 1.2.3.6時間後、それ以後、 翌日6時まで4時間毎（ 指示有り ）	4回	4回	2回	1回	
排泄	15時から尿量測定を始めます。	尿量測定を続けてください。	尿量測定を続けて下さい。	手術中に尿道カテーテルを入れます。	医師の指示まで尿道留置カテーテルは入ったままです。　排便時はトイレまで歩けます。 尿道カテーテル抜去後は、尿量測定をしてください。　排尿後、膀胱に尿が残っていないか看護師が管で尿をとり確認します。 医師の許可があれば、尿量測定を終了します。				
処置		必要時、手術部位の毛剃りがあります。 おへその処置があります。 夕食後浣腸があります。	6時以降に浣腸があります。 午後より手術の場合、朝から点滴があります。 	手術室より酸素を付けて帰室します。 背中に痛み止めのチューブ、お腹にはドレーンが付いてくる場合があります。 点滴は医師の指示あるまで持続。	採血します。 朝、酸素投与を中止します。 医師が診察します。 点滴は夕方まで持続。 朝・夕に抗生剤の点滴をします。	痛み止めがなくなれば、背中に入っている痛み止めチューブを抜きます。 動けるようになれば、弾力ハイソックスを脱いでかまいません。	採血、採尿します。	創部の抜糸をする場合があります。	（術後6日目） 採血・採尿があります。 内診があります。
準備	必要物品を購入してください。 マジックテープ式腹帯 2～3枚 T字帯2枚 ナプキン1枚 すべて1枚ずつ、看護師がお預かりします。	身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上に ナプキン1袋、パンツ1枚、 T字帯1枚、腹帯1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。	朝起きたら、弾性ハイソックスを履き、病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみつけます。						
投薬	内服している薬は続けて服用してください。手術のため、内服薬をお預かりします。 寝る前に緩下剤の内服があります。	眠れない時は眠剤を処方しますので、お知らせください。	麻酔科医師の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	術後、喉の痛みにはトローチをお渡しします。	10時より腸の動きをよくする漢方薬を飲みます。 				
安静	制限はありません。			ベッド上安静。膝を立てたり腕を動かしたりはかまいません。 体の向きも変えてもかまいませんが、難しいときは看護師が介助します。	ベッドサイドに立ってかまいません。 最初は看護師が傍で見守ります。	病室内は歩けます。	病棟内は制限ありません。	制限はありません。	
食事	制限はありません。	昼食より低残渣食となります。	食事は食べれません。 水分摂取は麻酔科医師の指示に従って下さい。		朝から水分開始、昼から重湯が開始になります。	昼から5分粥です。	昼から全粥です。	昼から普通食です。	
清潔	入浴可能です。				体を拭いて、お下も洗います。お手伝いしますが出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 着替えもします。	体を拭くタオルをお持ちします。 出来る範囲でご自分でも拭くようにしましょう。 トイレでウォッシュレットをご使用ください。		医師の許可があれば、シャワー浴開始です。	

（ 状態により多少前後することがあります ）

2021年07月 第3版
印刷日：
印刷者：